

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アクティブハート長南		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 14日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動環境の広さと質【Q1】 「こどもの活動スペースが十分に確保されている」に対し、回答者全員(19人)が「はい」と回答をいただきました。	情報公開の頻度とツール活用【Q21】 「活動概要や行事予定の発信」が高評価を頂きました。HPやSNSを単なる連絡手段ではなく、日々の子供の様子を伝えるツールとして活用していきます。	子供自身の「楽しさ」と「安心感」の追求【Q27, Q28】 通所への安心感・楽しみは高い数値ですが、わずかに「どちらともいえない」がありました。全員が「毎日行きたい」と思えるよう、個々の興味に合わせた活動の微調整を継続します。
2	職員の専門性と支援姿勢【Q5, Q17, Q29】 「専門性のある支援(Q5)」「共感的な支援(Q17)」「支援への満足度(Q29)」がいずれも18人と高い評価をいただきました。	個別支援計画に基づいた丁寧な説明【Q13, Q16】 計画の説明や定期的な面談にて高い評価をいただきました。単に書類を渡すだけでなく、今後も「対話」通して活動に対するご理解を頂きたいと思えます。	家族支援プログラムの深化【Q14】 家族支援やイベントについて、高い評価を得ていますが、より多くの家族が参加しやすい形態や内容(オンライン併用や土日開催など)を模索し、療育に関して満足していただけるように努力します。
3	情報発信と丁寧な説明【Q12, Q21】 「利用開始時の説明(Q12)」や「HP・SNS等での情報発信(Q21)」も18人が「はい」と回答をいただきました。	固定化されないプログラム提供【Q10】 「活動プログラムが固定化されないよう工夫されている」に対し16人から肯定していただきました。今後もマンネリ化を防ぎ、子どもたちが飽きないような企画運営への努力を行っていきます。	清潔で心地よい空間の維持【Q4】 広いスペース(Q1)が高評価である分、清掃や整頓(Q4)への期待値も高くなります。広いからこそ散漫にならないよう、清潔感の維持を徹底します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流・他機関との連携【Q11】 「地域の子どもの活動機会」について、「はい」は6人のみ。「いいえ」が1件、「わからない」が9件と最も回答が割れました。地域交流の機会が少ない、または実施していても保護者に見えていない状況です。	地域資源とのネットワーク不足 放課後等デイサービス単体での活動が中心となり、児童館や地域のクラブ等との連携イベントや交流が希薄になってしまっていますので、改善できるように地域社会との交流の場を模索していきます。	地域交流の機会創出または現状の説明【対Q11】 近隣の児童館やイベントへの参加を計画する。もし立地等の理由で難しい場合は、「なぜ交流が少ないのか(感染症対策や特性への配慮など)」を保護者に説明し、理解を得る。
2	非常時のマニュアル・訓練の周知【Q23, Q24】 マニュアル策定や避難訓練について、「わからない」が4~5件あります。実施はしていても、保護者への「周知」や「報告」が不足している部分がありますので、改善していきます。	「安全管理」の可視化不足 事故防止や防犯対策など、内部では行っているものの、それが保護者の安心材料として十分に周知を行えておりませんので、安全管理の充実を図るとともに、情報の発信も行っていきたいと思えます。	避難訓練・マニュアルの「見える化」【対Q23, Q24】 避難訓練を実施した際は、その様子を写真付きでSNSや連絡帳で報告する。また、入所時だけでなく、年に一度はマニュアルの概要をまとめた「安全だより」などを配布し、再周知を図る。
3	構造化とバリアフリーへの配慮【Q3】 「構造化された環境」「バリアフリー」について、「どちらともいえない・わからない」が計6件あります。広いスペース(Q1)はあるものの、それが「障害特性に応じて分かりやすく区切られているか」という点では、保護者に伝わりきっていないか、改善の余地があります。	環境設定の意図の伝達 なぜそのレイアウトなのか、なぜその掲示物なのかといった「環境の構造化」の意図がに関して、車内で検討していききたいと思えます。	職員配置と環境設定の意図を伝える【対Q2, Q3】 「今日は〇〇先生が担当です」といった掲示や、エリア分けの意味(「ここはクールダウンの場所です」等)を、保護者見学時や通信等で解説し、「なんとなく広い」ではなく「意図して環境を作っている」ことを伝える。